

いは別として日本の現実です。

実質上、最大の支援者は官僚である、といえる政治家はどのくらいいるのでしょうか。私は、少なくとも現在の国会議員の過半数以上は最大の支援者が官僚だと思います。

官僚に頼らない選挙で勝つ議員を！

選挙で官僚に借りをつくった政治家は官僚と対決できるはずがありません。むしろ、嫌われたら次の選挙に影響します。今回の行革論議も総論では勇ましいですが、各論になった途端に、官僚を腫れ物にさわるように大事に大事に扱うのは目に見えています。

「日本の未来を官僚の手から私たちの手に取り戻す」。この実現のためには、官僚の力を一切借りないで選挙に当選した国会議員を過半数以上誕生させる、ことが重要です。

官僚に頼った利益誘導選挙を官主選挙と呼ぶとすれば、その対極にあるのが、一人一人の市民が主導する民主選挙。民主選挙がより強くなって、官主選挙に勝つことが、官僚政治を終わらせる唯一の道です。

民主選挙が勝つには民主選挙が強くなることはもちろん、官主選挙の力を弱めることも重要です。官主選挙の力を弱めるには、官僚の業界団体、企業に対する影響力を弱める。つまり、許認可権限を最低限まで少なくする、規制緩和が重要になります。規制緩和には、この官主選挙を弱体化させるという効用もあるのです。

一方で民主選挙を強くするにはどうしたらいいのでしょうか。

民主選挙が勝った時、日本は変わる

私は民主選挙の基本であるカンパとボランティアの選挙を実践し、多くの方々の力を頂きましたが、結果は破れました。

当選した自民党候補者は秘書を10人以上雇い、ポスターの数も私の2倍以上。パーティーも数回実施し、資金は当方に比べて潤沢でした。

「ポスターを何万枚張る、というような物量作戦では民主選挙は負ける、同じ土俵で勝負するな」。これも一面では真理ですが、特にポスターなどではある程度の物量も選挙では重要であります。

民主選挙を強くするには、基本であるカンパとボランティアの方々をより多く集めるしかありません。

それには工夫が必要です。カンパをより多く集めるために、候補者の株券を発行するとか、カンパ集

金状況を毎日事務所のグラフで示すとか・・・。ボランティアの方々に集まってもらうために当方は、「楽しくなければ選挙でない」、これを選挙手法のスローガンにしました。楽しんで選挙をする、これが第一です。官主選挙の運動員の顔と民主選挙の運動員の顔は、その生き生き度が全く違います。

いかにボランティアの方々に楽しんで選挙を手伝ってもらうか、重要です。

しかし、民主選挙が勝つには、何より重要なのは、言い古されたことですが、有権者の意識を変えることです。そして、より多くのカンパとボランティアの方々の結集を計ることが不可欠なのです。

有権者の意識変革運動の実践

私は、この東京10区で次回も国政を目指して懲りずにまたチャレンジする決意です。気負って言えば、有権者の意識改革運動とのつもりで地道にカンパとボランティアの方々主体の民主選挙を追求し、次回は必ずや官主選挙を破ってみせます。ぜひ、民主選挙の勝利に皆様方のお力を、知恵を貸して下さい。

それが、本当に政治を変え、日本を変えることにつながるのです。議論だけでは何も変わりません。是非、皆様の民主選挙勝利に向けての再度のご支援をお願い申し上げます。ありがとうございました。

善戦した熱気ムンムンの選挙

～地区代表者から一言～

練馬区 治田桂四郎

長妻昭さんの選挙に関わった皆さん、本当にお疲れさまでした。私も選挙期間中、会社を休んで選挙を手伝いました。

事務所は、ボランティアの主婦や学生でいつも熱気ムンムンで、私も充実した時間を過ごさせてもらいました。途中からは娘ものめり込んで手伝うようになりました。

直前に社民党が立候補したり、投票率が伸びなかったり逆風の条件下、長妻さんは善戦されたと思います。惜敗率も63%。民主党候補の中でも上位に位置します。

長妻さんは次回も国政にチャレンジすると言っております。私もまた全面的に応援するつもりであります。

市民の選挙が勝つには、より一層のカンパとボランティアの方々がが必要です。今後とも長妻さんの市民選挙を応援して参りましょう。